



新田中だより

倉敷市立新田中学校 学校だより



令和7年
5月7日
第2号

地域の方に支えられています

新年度がスタートして1か月が過ぎました。ずいぶん暖かくなり、すでに夏服で登校している人もいます。新田中には更衣期間がないので、自分の感覚に合わせて冬服や夏服を選んで生活しています。今年度より、学校指定の紺のポロシャツも制服に取り入れられたので、1年生だけでなく2、3年生も着ることができます。状況に応じて使い分けてください。

暖かくなると雑草もどんどん生えてきます。新田中では環境整備として、毎週月曜日地域の方が校内のいろいろなところの草抜きや花壇の整備などをしてくれています。私も参加できるときは一緒に作業していますが、毎回とても熱心に作業をされていて頭が下がります。地域の方の献身的な貢献のおかげで、学校の整った環境が維持されていると強く感じます。生徒のみなさんも整った環境は当たり前のことではなく、維持するために動いてくださっている人がいるということを意識し、感謝の気持ちをもってほしいと思います。地域の方が作業している姿を見かけたら、ぜひあいさつをしたり、お礼を言ったりしましょう。また、昨年も行いましたが、今年度も生徒のボランティア活動として、地域の方とともに帰りの会後の30分一緒に草抜きなどをする生徒を募集します。1人1人の小さな善意が集まると大きな力になります。みなさんの善意で学校の環境を整えるとともに、あったかい雰囲気を作っていきましょう。



新田中では月に1～2回地域の方がたくさんの花を持ってきてくれ、校内のいろいろな場所に花を飾ってくれています。小分けにした花は美化委員が流し場やトイレなどに置いています。また、校務員の山本先生が校内のいろいろなところに花を植え、育てられています。さらに、定期的に地域の方が花の水替えもしてくれています。花は維持管理が大変ですが、たくさん花は学校を華やかにし、心も豊かにしてくれます。この花がたくさんある環境についても、当たり前ではなく、感謝の気持ちをもてる人になってほしいと願っています。



あいさついっぱい学校に

新田中では毎週木曜日に地域の方が東門に立ち、あいさつ運動をしています。それに合わせて、生徒会執行部の生徒のみなさんもタスキをつけてのぼりを持って、東門であいさつ運動をしています。私も、1人であいさつをするときよりも、地域の方や生徒会執行部の人たちと一緒にあいさつをするほうが元気が出ます。私は日頃から新田中が「生徒が気持ちよく生活できる学校」「教員が気持ちよく勤務できる学校」「保護者が安心して送り出せる学校」になってほしいと思っています。新田中がそんな学校になるためにもあいさつはとても重要です。「おはよう」「こんにちは」「さようなら」など、あいさつは誰もが知っている言葉ですが、お互いで気持ちを込めてかけあうことでお互いの距離が縮まる魔法の言葉でもあります。そして、あいさつはコミュニケーションの第一歩なので、あいさつがよくできる人は良好な人間関係も作りやすくなります。あいさつがよくできることは、将来社会に出た時も必ず役に立ちます。私はこれからも朝は東門で「おはよう」、昼は給食場で「こんにちは」、夕方は東門で「さようなら」とあいさつをしようと思っています。生徒のみなさんもあいさつを大事にし、積極的にあいさつをしましょう。



保護者の方へ

5月2日(金)は、多くの方が参観授業に参加してくださり、ありがとうございました。お子様のご様子はどうだったでしょうか。5月に入り、1年生も授業や部活動など本格的に中学校での生活が始まっています。頑張ろうという気持ちが強い人ほど、疲れもたまってくる時期です。お子様のことで、心配なことがありましたら遠慮なく学校にご相談ください。今後とも新田中へのご理解とご協力をお願いいたします。